

広島市植物公園 見どころ案内

バラ園 (バラ科)

春の花より小ぶりになりましたが、まだまだ御覧いただけます。香りと共に楽しみください。

ダシリオン

(リュウゼツラン科)
北アメリカの乾燥地帯原産。5年ぶり、4度目の開花です。花穂がガラス天井に届いています。

夏のカラフル

リーフ展

斑入り植物や様々な色の葉を持つカラーリーフ植物を、利用場所に依りて紹介。
【展示温室にて7月23日まで】

アリストロキア・ギガンテア

(ウマノスズクサ科) と シクンシ(シクンシ科)の背比べ

大温室正面入口から右に進むと奇異な巨大花を咲かせるアリストロキアと、甘い香りを辺り一面に漂わせるシクンシがスイレン温室側の壁面に向けて我こそ先に、と光を求めてツルを互いに絡み合わせながら、上方に伸ばしています。

アサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

2005年～展示資料館にグリーンカーテンを育成中。4月27日に誘引を始め、最上部までたどり着いています。ノアサガオの1品種‘オーシャンブルー’で、結実はめったにせず地上に伸びた茎を使った茎伏せで増やせます。

ガクアジサイ

(ユキノシタ科)
ハナショウブとヤマアジサイの花が終わり、すっかり静かになりつつある日本庭園です。が、ガクアジサイが人の背丈を越えんがばかりに大きくなり、花盛りです。

リョウブ (リョウブ科)

梅雨の蒸し暑い最中、涼しげな穂様の白色花を咲かせています。樹皮の表面が縦長な形に剥げ落ち、茶褐色で滑らかなになるので「サルスベリ」と言う地方もあります。

ネムノキ (マメ科)

中央アジアから中国・朝鮮半島、本州四国九州にかけて分布し、夜になると葉が閉じることから名が付けられています。中国においては夫婦円満の象徴とされています。

八重クチナシ

(アカネ科)
近くのクチナシ(一重)の花は終了しましたが、八重咲きが甘い香りを漂わせています。咲き始めの純白色から次第にクリーム色へ咲き進みます。

アガパンサス

(ユリ科)

梅雨の蒸し暑い中、花の端境期となるこの時期に涼しげな薄紫の花が見頃を迎えています。この仲間には‘ムラサキクンシラン’と名づけられたものもあります。

ヘメロカリスの園芸品種

(ユリ科)

日本原産のユウスゲやカンゾウの仲間。主に欧米で改良され、豪華で色とりどりの品種があり、一日花ですが、次々と咲いていきます。かつては当園でも展示会を開催していたほど。当園のコレクションをお楽しみください。

